

令和5年度 事業計画書

令和5年度は、これまでの調査研究、普及啓蒙、技術向上等の継続事業に、ICT技術を活用した施工管理等のDX（デジタルトランスフォーメーション）事業を積極的に推進する。

第I 事業

【I】 調査・研究開発事業

注入工法の信頼性確保と新たな課題に関する調査・研究開発事業を実施する。

1. 調査・研究開発の継続実施

- (1) 注入工法の最適化を図るための事業の継続実施
- (2) 施工管理のDX事業に関する調査・研究開発
令和3年度に「DX推進委員会」及び「同委員会専門部会」を設置し、協会認定型流量計を利用した注入データのクラウド管理・保管システムの構築について検討し、令和4年度には同システムの動作試験を実施し完成の目途が立った。
令和5年度は、本格運用を目標に共通計測機器等の協会認定と試験運用、協会員へ説明を各支部で行う予定。
- (3) インドネシア薬液注入ガイドライン作成協力に関する調査・研究
次のアクションについてインドネシア国内において調整中
- (4) 国土交通省が設置する薬液注入工法の施工管理に関する検討会への対応
- (5) 国土交通省の薬液注入工法の施工管理に関するヒアリングへの対応
国土交通省国土技術政策総合研究所(国総研)より調査を委託された
国土技術研究センターのヒアリング
- (6) 長期耐久性に関する調査研究の継続実施

2. 薬液注入工法の施工実績に関する調査の継続実施

水ガラス系薬液年度別施工数量及び工法別等の調査を継続実施する。

3. 薬液注入工法の施工管理機器・チャート紙の認定等の継続実施

- (1) 協会認定型流量計の認定及び定期検査証の発行
- (2) 協会認定チャート紙（流量記録紙）の認定
- (3) 使用薬材の協会登録

【II】 注入工法の普及啓蒙を図る事業

注入工法を広く正しく利用いただき信頼性を確保するため、次の事業を継続実施する。
対象者は、発注者（国・地方公共団体等）、総合建設業、設計事務所及び会員等である。

1. 協会活動の普及啓蒙

協会活動への理解と協力を得るため、業界紙の「地盤特集号」に会長インタビュー記事と会員名簿を掲載し広報活動を実施する。

2. 関係行政施策への支援・協力

- (1) 関係行政通達等の会員への周知
- (2) 国の地方機関・都道府県等の行政施策への協力・支援

3. 関係機関等との意見交換に参画

- (1) 登録基幹技能者制度推進協議会に参画
- (2) 建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会に参画
- (3) 建設キャリアアップシステム運営協議会に参画
- (4) 建設技能者の能力評価推進協議会に参画
- (5) 関係省庁、地方公共団体、関係団体との意見交換を継続実施する。

4. 講師派遣による普及啓蒙

- (1) 日本下水道事業団研修センターが主催する地方公共団体担当者研修会に依頼を受けて講師を派遣し工法の普及啓蒙を図る。
- (2) 技術説明会の開催による普及啓蒙事業
中国支部 10 月、東北支部・北陸支部 11 月、関東 2 月予定
- (3) 地方自治体や関係団体等からの依頼を受けて講師を派遣し工法の普及啓蒙を図る。

5. 資料集等の改訂・発行及び頒布等の事業

注入工法に関する調査・研究開発の成果を広く正しく利用いただくため、小冊子の「資料集等」として発行し頒布する事業を令和 3 年度も継続実施する。また、改訂する資料集は次の④設計資料と⑤積算資料である。

(資料集は日本国内の仕様であるため頒布は国内限定とする。)

「資料集等(刊行物等)」

〔基本指針〕

- ① 薬液注入工法の設計・施工指針 (平成元年 6 月)
- ② 耐久グラウト注入工法施工指針 (平成 24 年 3 月)

〔技術論文〕

- ③ 原位置長期耐久性確認試験 10 年目の報告書 (平成 25 年 3 月)

〔運用の基礎〕

- ④ 令和 5 年度版 設計資料 (令和 5 年 5 月発行) 【改訂】
- ⑤ 令和 5 年度版 積算資料 (令和 5 年 5 月発行) 【改訂】
- ⑥ 平成 30 年改訂版 施工資料 (平成 31 年 3 月発行)
- ⑦ 設計資料の英訳版(2018 年 Version) (平成 30 年度改訂)(令和元年 4 月発行)

〔管理〕

- ⑧ 薬液注入工事における施工管理方式 (平成 2 年 10 月)

〔実用書〕

- ⑨ 新訂「正しい薬液注入工法」—この一冊ですべてがわかる— 増刷 (令和 4 年 8 月第 5 版)
当協会編集・日刊建設工業新聞社発行

6. 工法に関する窓口相談対応事業

工法の設計・施工・管理に関する問い合わせが毎年多数あり、技術委員会薬液注入部会の委員が指導・助言等を行う。対象は、国の機関・地方公共団体、総合建設業、設計事務所及び会員等である。

7. その他の普及啓蒙事業

- (1) ホームページを活用した総合的な広報活動を推進する。

- (2) 本部・支部が新聞等広報媒体を活用し広報活動を実施する。
- (3) 支部独自の普及啓蒙事業
 - ①建設技術フォーラム 2023 に注入工法紹介タペストリー等を出展し広報活動を実施する。
 - ②工法の普及啓蒙を図るため関係団体と意見交換会を実施する。
 - ③国の地方機関・地方公共団体等に耐久グラウト注入工法のPR活動を実施する。
 - ④現場の安全パトロールを実施する。

【Ⅲ】注入工法の技術向上を図る事業

グラウト技術の信頼性と技術継承を確保するため、次の事業を継続実施する。

1. 登録グラウト基幹技能者講習の継続実施

- (1) 令和5年度(第10回)更新講習
- (2) 令和5年度(第15回)認定講習事業
令和4年度に引き続き開催地は東京1か所で実施する。

2. 国家資格取得支援講習事業

「2級土木施工管理技術検定試験(種別:薬液注入)」の取得支援講習
当該検定試験の受験者を支援する講習会で、令和5年度は東京と名古屋の2箇所で開催する。

3. 技術継承のための継続教育事業

講習会・技術説明会の講師・受講者をCPDS認定講習の対象として、継続教育を支援する。

【Ⅳ】その他の事業

1. 震災等の災害応急対策支援事業

協会では、国や地方公共団体等各方面から要請に基づき、当面の災害応急対策に可能な限り協力できるよう順次検討し支援を行う。

2. 表彰・顕彰の候補者推薦事業

国土交通省からの候補者推薦依頼を受けて推薦する。

3. 機関誌発行事業

協会活動等を会員に周知するため機関誌を発行・配布する。

4. 諸規定整備事業

協会運営に必要な諸規定等を整備する。

第Ⅱ 会 務

【Ⅰ】会員現況報告

令和4年4月1日現在の会員数 正会員 66 社 賛助会員 53 社・3 団体

【Ⅱ】会議等の開催

協会の運営管理に関する重要事項を審議し決定するため会議等を開催する。

1. 第48回通常総会（令和5年6月16日（金））
2. 第48回通常総会懇親会（同上）
3. 理事会 年5回（5月、通常総会当日、8月、11月、3月に開催）
4. 業務執行理事会（必要に応じて随時開催）
5. 監事監査及び監査報告（5月に監査し、理事会・通常総会に報告）
6. 支部長会議（年1回9月に開催）
7. 委員会（各委員会の課題に応じて随時開催）
8. 支部総会（4月）
9. 支部幹事会議（年5回程度開催）

支部事業の執行に関する企画運営事項を審議するため支部幹事会を開催する。

10. 支部委員会（必要に応じて随時開催）

課題を検討するため委員会を必要に応じて開催する。

以上